

# 対馬学フォーラム 2019 概要

## 1. 対馬学フォーラムについて

対馬学フォーラムは対馬市が実施している地域連帯事業の一環として、島内で行われている研究や実践活動の成果を広く共有し、環境・文化保全、地域振興につなげることを目的とした取り組みである。開催5度目となる今回は、対馬市立仁田小学校児童による「仁田史の継承者になろう」の発表を含む5件の特別報告のほか、島内外からの参加者による55件のポスター発表、また同時開催で、参加大学による「出張！オープンキャンパス」や巴山剛氏による「海ごみ三味線」パフォーマンスが対馬市交流センターで行われた。

「つながり、つなげる、つながる」がキーワードの対馬学フォーラムでは、地域、大学、行政といった多彩なバックグラウンドを持つ関係者の間で活発な交流が行われることで、対馬の魅力や課題、想い、ビジョンの共有がなされている。また、個々の出会いを通じて協働や連携が生まれることで、持続可能な地域社会の一助として寄与していることが窺える。このように、対馬学フォーラムは、学びを軸としたつながりが創生される場として、対馬の地域づくりにおいて重要な役割を果たしている。



図. 出典『対馬学へようこそ 対馬学フォーラム 2019 発表要旨集』, 対馬市, 令和元年 12 月 p.1

## 2. 対馬学フォーラム 2019 プログラム

当日の開催概要は表のとおりである。

9 : 30	開場
10 : 00	開会挨拶 対馬市長 比田勝尚喜
10 : 05	オウゴンオニユリ球根の返還式 長崎県立諫早農業高等学校
10 : 10	特別報告 「仁田史の継承者になろう」 対馬市立仁田小学校 「親子で探る対馬の遺跡」 対馬歴史研究会 長崎菜々子・長崎章 「ESD 対馬学の取り組み」 長崎県立対馬高等学校 「離島の観光振興とリスクヘッジの必要性 —対馬と宮古島等の事例から考える」 富山国際大学現代社会学部 教授 助重雄久 「対馬における日韓観光交流の意義とこれから」 九州産業大学地域共創学部 学部長/教授 千相哲
(お昼休み)	
13 : 00	ポスター発表大会 13 : 00～14 : 30 コアタイムその 1 14 : 30～16 : 00 コアタイムその 2
同時開催イベント 出張！オープンキャンパス 13 : 00～16 : 00 巴山剛氏による「海ごみ三味線」パフォーマンス 14 : 15～14 : 30	

### 【参考文献】

『対馬学へようこそ 対馬学フォーラム 2019 発表要旨集』, 対馬市, 令和元年 12 月

(文責 : 佐藤 安未加)